



さといも

品種

石川早生(固定種)：子・孫芋が早くから着き、育つのも早い事が特徴です。子芋は丸型で多く収穫できますが、水晶芋など生理障害が発生することがあります。

大和(固定種)：芋質は粘りがあり、俵方に近い形に生長します。子・孫芋の着生が良く、芋の肥大も良好です。収穫適期が比較的長いので、遅くに掘っても大丈夫ですが、芋が割れることがあります。

作型の例

(← 定植 ● 収穫)

月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
早掘り		←→				●	●			
普通掘り		←→			かん水			●	●	

定植

種芋は50~60g程度で丸型、病気や傷の無い物を選び、1a当たり20kgが目安です。畝は25cm程度必要です。種芋を植える時は深さ15cm~18cmの植え穴を掘り、芋の上に10cmの覆土をかけてください。土は種芋のまわりに隙間を作らないようにしましょう。種芋はベンレートT水和剤で消毒しておくこと黒斑病などの予防になります。

芽直し

マルチ栽培の場合芽が出たときにマルチの穴から伸びず、引っかけた芽を焼いてしまう事があります。その芽をマルチの穴からでるように、マルチを破ってください。



額縁排水をしっかりと掘り、畝間に水がたまらないようにしてください。高低差をつけて排水がスムーズになるように心がけてください。

5月中旬~梅雨入り前、梅雨明け後から9月上旬に晴天が4日~7日続き、葉に水がたまらなくなったら早朝又は夕方しっかりとかん水してください。

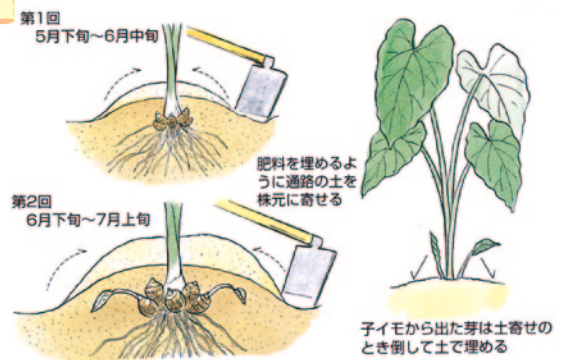
施肥例

(kg/a)

肥料の種類	基肥	追肥
たかおか堆肥	200	
苦土石灰	14	
ようりん	4	
野菜良好15号	12	
硫酸加里	2	2

子ずき(子芋から発生した茎・葉)

「大和」では、子ずきの刈り取りは7月中旬に終わらせてください。8月以降は孫芋の生育のため刈り取らないようにご注意ください。但し、5月下旬以降に定植し、遅植えになった場合や極端な生育不良の場合は子ずきは刈り取ってください。



栽培のポイント

さといもは、高温多湿の気候を好み、粘土質の土壌が適しています。乾燥には弱いため、水管理が重要になります。連作は、収量・品種ともに低下させるので、4年以上栽培期間をあけて下さい。